

「おうみ」がわかる
コミュニティ・ペーパー

おうみ タウン

1999.10 / Issue #1

草津コミュニティ支援センター・おうみ事業部発行

TEL.077-563-0932 FAX.077-565-7137 E-mail. npo@kusatsu.or.jp URL. http://www.kusatsu.or.jp

ニューヨークから飛行機で1時間少々。のどかな田舎まち、イサカ市に行ってきました。あいにく小雨が散る8月18日、トンプキンス郡空港に私(たち/いわゆるgirl friendと一緒に)行ったので)を迎えていただいたのはマーガレットさん。現在、Ithaca HOURSの機関誌『HOUR Town』の編集長をしている方です。

順番が前後しましたが、イサカ市というのは「おうみ」システムのモデルとした「Ithaca HOURS」を運用しているまちです。人口は3万人。もともと農業が盛んで、湖をはじめとした自然にも恵まれ、まさに風光明媚という表現が似合う、そんな小さなまちでした。

小さいとはいえ、アメリカです。マーガ

レットさんは彼女の車でまちを案内し

てくれたのですが、おすすりスポットをまわるだけで2日間かかりました。日本にいる間に電子メールにて「Ithaca HOURSをモデルに地域通貨の取り組みをはじめました」と伝えておいたためか、連れて行っていただいたところはどれも「地域の人がつくった」だとか、「地域の人がついている」といったように「地域に根ざした」もの

ことでした。科学館や銀行・商店街の本屋さん、などなど。この詳しい内容はポットラックパーティー(料理持ちよりのパーティー)の時にスライドを使ってお話をしたいと考えています。

さて、地域に根ざしたもの・ひとに出会った、と言いましたが、実は今回の旅で最も刺激的だったのは「地域に根ざした人たち」に出会ったということでした。2日間にわたって案内してくれたマーガレットさんもその1人ですが、さらに刺激的だったのは、Ithaca HOURSの創始者：ポールさんでした。

食事を一緒にしただけなく、1泊だけ彼の家にも泊めていただきました。私は直接彼自身からこれまでの活動や発想の歴史を聞いて、なぜIthaca HOURSが、また世界各地60箇所以上の地域のモデルになったかが納得できた気がしています。

Ithaca HOURSを私も使ってきました。最初にマーガレットさんに両替をしてもらった後、Ithaca Bakery(パン屋)でベーグルを買いましたし、Greenstars(生協)で飲物を買ひ、Farmers Market(朝市)でマグカップを買ひ、そして案内をしてくれたマーガレットさんに8時間分の8 HOURSを支払ってきました。また、逆に私がポールさんにビデオを渡したら1/2 HOURSをいただきました。地域のお金ですから、

地域内で「ちゃんと」使いきってきました。

私が使った相手に限っての話ではない

と思うのですが、イサカでは多くの人がIthaca HOURSを支えています。今回はマーガレットさんとポールさんのみの紹介となってしまっただけ残念ですが、Ithaca HOURSの理事会のメンバーのみならずイサカの人たちは皆おもしろい方たちでした、よ。(とりわけマグカップを買ったヒルという青年は極めて聡明でした)

ちなみに、「おうみ(OHMI)」を英語圏の方が

発音すると「オウマイ」となるようです。ちょうど「HOUR(時間)」が「OUR(私たち)」という発音と掛け合わせながら使っているのと同じように、私たちも「OHMI(おうみ)」と「OH, My(オウ、私の!)」とを掛け合わせて使ってみてもいいのかな、とも感じました。

「おうみ」の機関誌『おうみタウン』。こうして1ヶ月に1回、利用者の交流も兼ねて情報提供をしていきたいと考えています。「OH, My Town」を、私たち自身でおもしろくしていけるといいですね。

おうみタウン 創刊にあたって

モデルにしたイサカ市に、
行ってきました。

山口 洋典

草津コミュニティ支援センター事務局次長

お・う・み

by... 内山 博史 (草津コミュニティ支援センターおうみ事業部長)
& 山口 洋典 (草津コミュニティ支援センター事務局次長)

に関する 10 の質問

1999年6月に実験開始をした「おうみ」システム。
この9月からの正式導入にあたって、「おうみ」に
関する「？」を整理しておきます。

.....

1)「おうみ」って、何ですか？

草津コミュニティ支援センターを中心に循環する、もうひとつのお金です。
お札と、パソコン上(電子管理)の数字の2種類で流通しています。
「おうみ」という名前は、草津にゆかりのある名前をつけたい、と思って何人かで考えた結果出てきました。

2)「おうみ」はどんな価値があるのですか？

「おうみ」には「ありがとう」という価値がこもっています。
現金では評価できないボランティア活動などに対して支払ったり、もらったりするためのものです。
また、1おうみ = 100円として換算し、センターの施設利用料金への支払いが可能です。
1おうみ・5おうみ・10おうみの3種類のお札を発行しています。

3)どうしたら「おうみ」を得られるのですか？

1つは草津コミュニティ支援センターに関係する仕事、例えば、センターの受付窓口のボランティアをしたり、
ブラス(喫茶コーナー)でのテーマ・サロンを企画・運営したり、センターのおそうじをした場合などです。
センター事務局主催のイベントのお手伝いをした場合などにも発行されます。

次は『おうみタウン』の登録メンバーになった場合です。自分のできるサービスをひとつ以上登録し、
登録料として¥1000を事務局に支払ってください。10おうみと、コミュニティ・ペーパー『おうみタウン』を
差し上げます。

もうひとつは、何かのボランティアをしたときに、おうみを持っている人からボランティアのお礼として
もらう場合です。

さらに、現在、運営ルールの詳細を議論中ですが、「おうみ交易所」を事務局内に設け、上限を決めて、
¥100=1おうみで買い取りをできるようにしようということも今後、検討されています。

4)「おうみ」のお札を持ちたいのですが？

3)で述べたような方法でお札を得るようにしてください。

また、現在、電子上の口座におうみを持っている人は(センター事務局から発行された「おうみ」については
まず、電子上の口座に振り込まれます)事務局にて口座からのその額を引き出し、紙幣化をすることができます。
もちろん、最初からお札でもらうことも可能ですので、毎月第4土曜の運営委員会の後に、事務局スタッフに
お問い合わせください。

5)私も「おうみ」システムに参加できますか？

「おうみ」は誰でも使えます。もちろん「おうみ」のお札を持っている人だけです。

システムに参加するには『おうみタウン』の登録メンバーになってください。事務局に置いてある「登録用紙」に記入して、自分のできるサービスをひとつ以上登録し、登録料として¥1000を事務局に支払います。

10おうみと、コミュニティ・ペーパー『おうみタウン』を差し上げます。自分のできるサービスは、ひと月ごとに更新をすることができます。更新料は¥100で、情報提供を新たにしてくれたお札に1おうみが支払われます。で、更新したサービスひとつにつき1おうみが支払われます。

6)情報を掲載すれば、システムに参加していることになりませんか？

基本的にはそうなります。でも、『おうみタウン』にあなたのできるサービスが掲載されているだけでは、おうみは自分の手元から動いていきません。様々な人と交流しながら、おうみを循環させるようにすること、それが「参加」だと言えるでしょう。

7)情報を掲載したら、どうやって連絡を取るのですか？

コミュニティ・ペーパー『おうみタウン』には、様々なボランティア・サービスが掲載されています。サービスを提供する人に連絡して、アポイントをとってください。人によって、それぞれ連絡をとる手段が違っているので（センター内の掲示板・携帯電話・電子メール・FAXなど）、マナーを守って連絡を取るようにしましょう。

8)他の地域でも同じようなことをしているところがありますか？

アメリカはニューヨーク州イサカ市での「イサカ・アワー」をモデルにしています。

日本では、千葉の「ピーナッツ」、高知の「あったかマネー」などの例があり、全国各地でもこのようなシステムの導入が検討され始めています。何でも、草津の「おうみ」は全国的に見ても先進事例らしいですよ...（ちょっぴりウレシイ）。

9)どのように「おうみ」は使うのですか？

コミュニティ・ペーパー『おうみタウン』やセンター掲示板でボランティア・サービスの情報を手に入れてください。

情報を得たら、そのサービスを提供している人と連絡をとりあいます。センターに来て、直接、その人と話をするのも「顔が見える」のでいいですね。あとは、パソコンを教えてもらったり、お料理の仕方を教えてもらったりして、お札におうみを支払います。

また、もしあなたが既におうみを持っているなら、誰かに何かをしてもらったからお札にあげてみるのもいいですね。その時に、おうみの紹介もぜひしてください（ちょっと宣伝）。

10)もっと「おうみシステム」の動きに積極的に関わるにはどうしたらいいですか？

センター事務局のスタッフを試してみるのもいいですね。お仕事をしながら、センターに来るいろんな人との出会いで、ネットワークが広がり、そして「おうみ」も貯まります?!

もちろん、きちんとお仕事をしたらの話ですが...。目指せ「おうみ長者」!

また、「おうみ」などの地域通貨のこれからを考えていく勉強会として「おうみ研究会」を開催します（第1回は10月3日(日)の午後1時からセンターで行います）。興味のある方はぜひ参加してみてください。

「おうみ」の達人リスト

ここに掲載されている人たちが、今「おうみ」を受け取って何かを提供してくれる方です。
連絡を取りたい場合は...まずはセンターへどうぞ！（2～3ページ参照）

癒し/理美容	ルーン・カウンセリング	内山 博史
癒し/理美容	よろず相談（NPO・ボランティア・子育て・個性・女性...）	金澤 恵美
文化教室	中華まんじゅう作り	田中 征子
文化教室	イサカみやげ話	山口 洋典
文化教室	日本在住の外国人・外国人児童についての話（講演）	幡野 光美 リリアン
文化教室	旅行のアドバイス	田中 敏恵
文化教室	エコマネーを用いた地域活性化など	内山 博史
文化教室	組織マネジメント・コンサルティング	内山 博史
自然/アウトドア	野菜料理教室（野菜摘みから天ぷらまで/春のみ）	糸 昌美
工芸/芸術	似顔絵を書きます	堤 幸一
健康	カイロプラクティック（脊椎矯正）	進 浩子
健康	自然療法・食事の相談	糸 昌美
家庭生活	手芸	田中 敏恵
家庭生活	簡単な袋物作り	田中 征子
パソコン	MacユーザーのためのWindows講座	山口 洋典
パソコン	WindowsユーザーのためのMac講座	山口 洋典
パソコン	初級パソコン講座（Win / Mac）センター or あなたの自宅にて	内山 博史
DTP・編集・翻訳	名刺作成	山口 洋典
その他	司会（結婚式・イベント/告別式も経験あり）	金澤 恵美
その他	結婚式の司会をします	堤 幸一

【今回・登録がなかった項目】

農/動物/贈り物/物品交換/事務作業/子ども/衣服/メンタルヘルス/家具/言語/音楽/修理・修繕/運搬・移動/気功

【具体的に提供者を求めている内容】

卵・野菜など手作りのものを提供してくれる方/チラシを作ってくれる方/安全な野菜を提供してくれる方/
太極拳を教えてくれる方/サルサダンスを教えてくれる方/衣類のリフォームをしてくれる方または教えて
くれる方/事務作業を何かしてくれる方/環境・子ども・障害者関係の取り組みを一緒にしてくれる方

【有効に活用できる方がいれば譲ります、というもの】

水道用ホース（5m位）/郵便ポスト（家型）/子どものおもちゃ（1～2歳用）/シャム猫の雑種（成猫）

編集後記

何とか作り上げた「おうみタウン」第1号。
とはいえ、文字ばかりで構成されていて、
あまり読みやすいものではありませんね。
これからもっと「読みやすく」「使いやすい」
ものにしていきます。皆さんのご意見、
ぜひお寄せくださいませ。

コミュニティ・ペーパー「おうみタウン」第1号（1999.10.1）

編集：山口 洋典（gucci@jca.apc.org）

発行：草津コミュニティ支援センター・おうみ事業部

TEL.077-563-0932

FAX.077-565-7137

E-mail. npo@kusatsu.or.jp

URL. <http://www.kusatsu.or.jp>

スタッフ募集のコーナー

おうみ事業部では、「おうみ」運営の
お手伝いをしてくださる方を募集します。
ニュースレター作成・情報の集約などが
主な仕事です。興味・関心のある方は事業
部までご連絡ください。

* 草津コミュニティ支援センターは、1998年5月に設立された、公設（草津市）市民営
（市民による自発的な事務局体制）の市民活動サポートセンターです。こうしたセミナー
の企画の他に、サロン「ブラス」の運営、エコマネー・パブリックアクセスに関する事
業などを行っています。詳しくは事務局までお問い合わせください。